

六連

基礎データ

【人口】1,815人(H22.1.31現在)
 【世帯】582世帯(H22.1.31現在)
 【面積】約710ha
 【公共施設】六連保育園・六連小学校
 【文化財・史跡】長仙寺(山門・仁王像・護摩堂)・
 百々陶器窯跡
 【主な産業】農業

●久美原海岸

校区の概要

六連校区は、中心市街地の南東に位置し、豊橋市に接しています。南は勇壮な太平洋を望み、景観豊かな海食岸や崖森、丘陵地が織り成す広大な農用地を抱えた地域で、長上・久美原・浜田・百々・新浜の5つの地区で構成されています。農業は専業農家が半数を占め、豊川用水の通水や農林総合整備事業により施設栽培も盛んとなり、多種の果菜を生産しています。夏はスイカ、冬はセロリが六連の特産品となっています。人気の観光地引き網も数多く行われ、穏やかな波の日には釣人が絶えず、特に近年はワラサが釣れることで、早朝は砂浜が人で埋まるほどです。

郷土劇「あれ地に水を」

六連小学校では、4年生が学芸

●あれ地に水を



会で「あれ地に水を」の劇を上演することが恒例となっています。この劇は、昭和初期に富山村から六連の地に移住した12人の開拓者の

●開拓者とその家族(昭和12年ごろ)



様子を描いたものです。劇では、赤褐色のやせ地を鋤による手作業で耕す様子や、苗にかける水を遠く離れたため池から桶とリヤカーで何度も運ぶ様子など、当時の苦労や努力などが紹介されています。今では、開拓の様子を知る人が少なくなりましたが、校区の歴史を今に伝える大切な文化行事となっています。

おたがまつり

長仙寺では、毎年3月の第二日曜日に、渥美半島に春を呼ぶ祭りとして有名な「おたがまつり」が行われています。中でも、人々が糸まりを奪い合う呼びものの「玉取り」は、表浜の網元の若衆たちが、網の

威信をかけ、神仏の加護を受けるために競い合ったのが始まりと伝えられています。

校区の活動

先人の築いてきた地域への愛着心、思いやりある人と人との結び付きの精神を引き継ぐため、校区民のふれあいの機会の場として、「夏まつり(盆踊り)」「市民館まつり」を行っています。このイベントは年々盛況になっており、バザーや餅つき大会は大変な人気です。校区では、住民や後継者の将来にとって安心・安全で豊かな環境づくりを、みんなの参加と協働で行っています。

●おたがまつり(玉取り)

